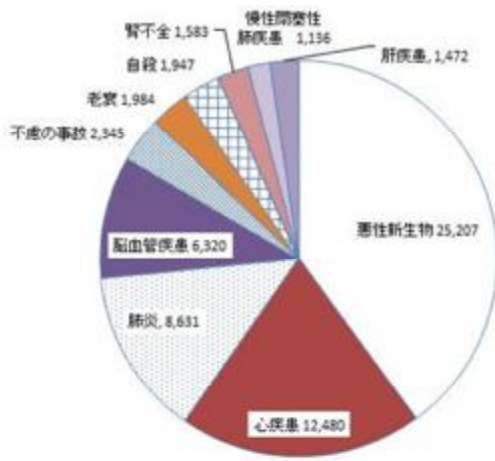
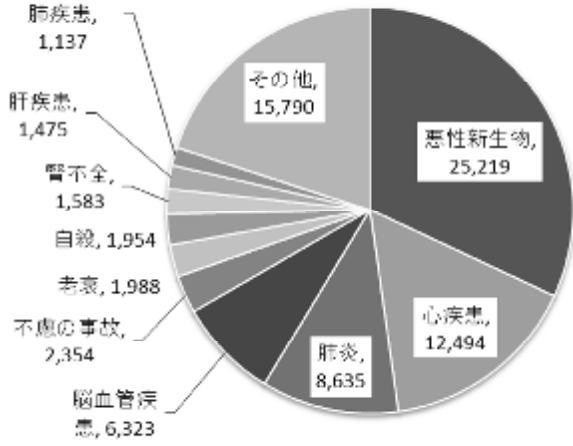


第2次大阪府健康増進計画 正誤表

※下線部は正誤箇所

頁	誤	正	備考
6	<p>図6 府の主な死因の死亡数 (平成23年、人)</p> 		<p>月報年計（概数）を年報へ更新。 その他が抜けていたため、加えた。</p>
14	<p>図15 脳血管疾患の年齢調整死亡率の推移</p>	<p>資料 厚生労働省 <u>業務加工統計</u></p>	<p>データソース 誤記</p>
15	<p>図19 急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の推移</p>		
15	<p>図21 糖尿病の年齢調整死亡率の推移</p>		
16	<p>図24 COPDの年齢調整死亡率の推移</p>		

24	<p>図 3 9 野菜摂取量の推移 (20 歳以上)</p>	<table border="1"> <caption>図 3 9 野菜摂取量の推移 (20 歳以上)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>大阪府 (g)</th> <th>全国 (g)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成17年</td> <td>253.9</td> <td>266.5</td> </tr> <tr> <td>18年</td> <td>256.8</td> <td>277.3</td> </tr> <tr> <td>19年</td> <td>247.5</td> <td>264.3</td> </tr> <tr> <td>20年</td> <td>244.7</td> <td>270.5</td> </tr> <tr> <td>21年</td> <td>253.4</td> <td>295.3</td> </tr> </tbody> </table>	年	大阪府 (g)	全国 (g)	平成17年	253.9	266.5	18年	256.8	277.3	19年	247.5	264.3	20年	244.7	270.5	21年	253.4	295.3	<table border="1"> <caption>図 3 9 野菜摂取量の推移 (20 歳以上)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>野菜類(大阪府) (g/日)</th> <th>野菜類(全国) (g/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成17年</td> <td>264.1</td> <td>292.8</td> </tr> <tr> <td>18年</td> <td>284.0</td> <td>303.4</td> </tr> <tr> <td>19年</td> <td>275.3</td> <td>290.1</td> </tr> <tr> <td>20年</td> <td>263.3</td> <td>295.3</td> </tr> <tr> <td>21年</td> <td>253.4</td> <td>295.3</td> </tr> </tbody> </table>	年	野菜類(大阪府) (g/日)	野菜類(全国) (g/日)	平成17年	264.1	292.8	18年	284.0	303.4	19年	275.3	290.1	20年	263.3	295.3	21年	253.4	295.3	<p>平成 20 年以前の数値が誤っていたため、訂正。</p>
年	大阪府 (g)	全国 (g)																																						
平成17年	253.9	266.5																																						
18年	256.8	277.3																																						
19年	247.5	264.3																																						
20年	244.7	270.5																																						
21年	253.4	295.3																																						
年	野菜類(大阪府) (g/日)	野菜類(全国) (g/日)																																						
平成17年	264.1	292.8																																						
18年	284.0	303.4																																						
19年	275.3	290.1																																						
20年	263.3	295.3																																						
21年	253.4	295.3																																						
25	<p>図 4 2 朝食欠食率の変化 (7 ~ 14 歳)</p>	<table border="1"> <caption>図 4 2 朝食欠食率の変化 (7 ~ 14 歳)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>大阪府 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 15 年</td> <td>4.0</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>平成 20 年</td> <td>5.3</td> <td>5.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：国民健康・栄養調査（厚生労働省） 図 4 2 朝食欠食率の変化 (7 ~ 14 歳) ※大阪府のデータは、平成 14 ~ 16 年、平成 19 ~ 21 年の 3 年平均</p>	年	大阪府 (%)	全国 (%)	平成 15 年	4.0	4.2	平成 20 年	5.3	5.9	<table border="1"> <caption>図 4 2 朝食欠食率の変化 (7 ~ 14 歳)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>大阪府 (%)</th> <th>全国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成17年</td> <td>7.4</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>平成20年</td> <td>7.4</td> <td>6.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：国民健康・栄養調査（厚生労働省） 図 4 2 朝食欠食率の変化 (7 ~ 14 歳) ※各年次結果と前後の年次結果を足し合わせ、計 3 年分を平均化</p>	年	大阪府 (%)	全国 (%)	平成17年	7.4	3.9	平成20年	7.4	6.2	<p>大阪府のデータが、大阪市を含まない値になっていたため、修正。全国データも 3 年平均したものを使用</p>																		
年	大阪府 (%)	全国 (%)																																						
平成 15 年	4.0	4.2																																						
平成 20 年	5.3	5.9																																						
年	大阪府 (%)	全国 (%)																																						
平成17年	7.4	3.9																																						
平成20年	7.4	6.2																																						
	<p>朝食欠食率 (本文)</p>	<p>また、子ども (7 ~ 14 歳) の朝食欠食率は 7.4% であり、<u>同年代の全国平均を下回っているものの、目標の 0% には達していません (図 4 2)。</u></p>	<p>また、子ども (7 ~ 14 歳) の朝食欠食率は 7.4% であり、<u>目標の 0% には達していません (図 4 2)。</u></p>	<p>データと矛盾する記述のため削除</p>																																				
26	<p>2.5.4 たばこ (本文)</p>	<p>平成 22 年国民健康・栄養調査において、男性で全国第 28 位、女性で第 45 位 (ワースト第 3 位) と、特に女性で高い傾向が続いています (図 4 5)。</p>	<p>平成 22 年国民生活基礎調査において、男性で全国第 28 位、女性で第 45 位 (ワースト第 3 位) と、特に女性で高い傾向が続いています (図 4 5)。</p>	<p>誤記を訂正</p>																																				

38	表 1 4	第 2 次大阪府健康増進計画の目標項目	第 2 次大阪府健康増進計画ダイジェスト版 p. 7	
39	表 1 5		5 目標項目一覧 修正版に準拠	
42	2 0 目標項目と現状値	メタボリックシンドローム該当者数 <u>1,093 千人</u>	メタボリックシンドローム該当者数 <u>932 千人 (H20 年度)</u>	H22 年度の値 から H20 年度 の値に修正
	2 1 目標項目と現状値	メタボリックシンドローム予備群数 <u>350 千人</u>	メタボリックシンドローム予備群数 <u>439 千人 (H20 年度)</u>	
48	3 0, 3 1 2 9 年度目標値	<u>8g (H28 年度)</u>	8g	
	3 3 目標項目と現状値	朝食欠食率(7-14 歳) 7.4%	朝食欠食率(7-14 歳) <u>7.4% (H20 年度)</u>	
52	3 9 目標項目と現状値	睡眠による休養を十分に取れていない者の割合の減少 <u>22.8%</u>	睡眠による休養を十分に取れていない者の割合の減少 <u>(H20 年度) 22.8%</u>	
56	4 9 目標項目と現状値	<u>多量飲酒者 (1 日に純アルコール約 40 g 以上摂取する者) の割合 (男性) 16.0%</u>	<u>生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者 (1 日当 たりの純アルコール摂取量約 40g 以上) の割合 (男性) 18.0%</u>	表 記 誤 り 修 正。現状値算 出過程で誤り があり、現状 値修正。
	5 0 目標項目と現状値	<u>多量飲酒者 (1 日に純アルコール約 20 g 以上摂取する者) の割合 (女性) 6.3%</u>	<u>生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者 (1 日当 たりの純アルコール摂取量約 20g 以上) の割合 (女性) 10.1%</u>	
	4 9 29 年度目標値	現状値の 7.5%減 <u>(14.8%)</u>	現状値の 7.5%減 <u>(16.7%)</u>	現状値修正に 伴い、数値修 正。
	5 0 29 年度目標値	現状値の 7.5%減 <u>(5.8%)</u>	現状値の 7.5%減 <u>(9.3%)</u>	
57	主な取り組み (1) 多量飲酒防止の推 進	<u>多量飲酒者</u> では、飲酒運転などを含めた社会的問題との関 連も指摘されており、生活習慣病のリスクを高める量とし て純アルコール男性 40 g/日以上、女性 20 g/日以上の多量 飲酒者に対する取組を推進します	<u>多量飲酒者 (1 日平均 60g を超える飲酒者)</u> では、飲酒運 転などを含めた社会的問題との関連が指摘されています。本 計画では多量飲酒者に加え、生活習慣病のリスクを高める量 として純アルコール男性 40 g/日以上、女性 20 g/日以上の 多量飲酒者に対する取組を推進します。	表記修正

		近年、 <u>多量飲酒者への短時間での医師等による節酒指導（ブリーフインターベンション）の効果が明らかとなり、医療や健（検）診の場を活用した多量飲酒者減少に向けた節酒指導を市町村と連携しながら推進します。</u>	近年、短時間での医師等による節酒指導（ブリーフインターベンション）の効果が明らかとなり、医療や健（検）診の場を活用した節酒指導を市町村と連携しながら推進します。	
59	5 1 29 年度目標値	<u>40%</u>	<u>40%以上</u>	大阪府歯科口腔保健計画策定に伴い、表記を変更、調査中であった数値を記載。
	5 2 目標項目と現状値	<u>40 歳代における進行した歯周病を有する者の割合【府内の歯科口腔保健実態把握のための調査にて調査中（H24）】</u>	<u>歯周治療が必要な者の割合（40 歳） 40.0%（H23 年度）</u>	
	5 2 29 年度目標値	<u>大阪府歯科口腔保健 計画（仮称）にて策定予定</u>	<u>33%以下</u>	
	5 3 29 年度目標値	<u>85%</u>	<u>85%以上</u>	
	5 4 目標項目と現状値	<u>過去 1 年間に歯科健診を受診した者の割合【府内の歯科口腔保健実態把握のための調査にて調査中（H24）】</u>	<u>過去 1 年間に歯科健診を受診した者の割合 46.0%（H24 年度）</u>	
	5 4 29 年度目標値	<u>大阪府歯科口腔保健 計画（仮称）にて策定予定</u>	<u>55%以上</u>	
82	項目 4 9， 5 0	項目番号: 49、50 多量飲酒者の割合の減少 飲酒の健康影響は、男女差が大きく、生活習慣病のリスクを高める飲酒量が異なることから、目標項目を性別に設定し、1日の平均純アルコール摂取量が男性40g、女性20g以上としました。 <u>多量飲酒者</u> の割合は、飲酒の頻度と飲酒日の1日当たりの飲酒量を用いて次の方法で算出しました。	項目番号: 49、50 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 飲酒の健康影響は、男女差が大きく、生活習慣病のリスクを高める飲酒量が異なることから、目標項目を性別に設定し、1日の平均純アルコール摂取量が男性40g、女性20g以上としました。 <u>生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者</u> の割合は、飲酒の頻度と飲酒日の1日当たりの飲酒量を用いて次の方法で算出しました。	表記誤り修正。
	項目 5 2	項目番号: 52 40 歳代における進行した歯周病を有する者の割合	項目番号: 52 歯周治療が必要な者の割合（40 歳）	表記修正